鳥栖公民

第18号　昭和31年9月5日　発行

発行所　鳥栖市中央公民館　佐賀県鳥栖市　電話(代)2136番

発行人　宮原佐一郎
編集人　宮原真
印刷人　松隈伊和見

市の常識

▲市内の工場・商店数＝現在五七三、就計上は〃事業所〃と称し、製造工場をはじめ卸・小売商を含める。このうち、大は専売公社鳥栖工場から、小は豆腐・菓子などの製造所を含せて製造所は九二、そのうち会社組織のものが三七。

また、商品の卸小売店は四八一あり、そのうち会社組織は二九。なお、このほか市内の飲食店は三七、

九月の行事

▼小作地の総寅は九月末日まで（農業委員会）▼九月定例市議会招集予定は九月6日＝▼総務常任委員会8日＝▼専売公社落成式11日▼生活保護費支給15日＝▼基本選挙人名簿調整現在日（資格＝一、本年十二月二十日までに満二十才以上の日本人　二、本年六月六日までに鳥栖市に居住し現住する人）24日＝▼水稲冷害被検見始まる25日＝▼鳥栖公民十月号原稿締切27日▼未帰還者留守宅慰問金支給28・29・30日＝▼八坂神社六百五十年式年大祭…

完成した「たばこ」の殿堂

―九月八日に落成式―

昨年五月に着工された日本専売公社鳥栖工場はこの一年ほど第一期工事の工場、附属設備を完成、来る八日に落成式が行われる。

同工場は四階建の煙草製造工場をはじめ事務室、工作室、診療所、厚生施設を含め約六千坪の近代設備を誇り総工費約七億、第二期工事として倉庫四千坪が九月から着工される。現在日産は「いこい」六〇〇万本計九〇〇万本である。

当日市では、駅前に祝賀塔を建て万国旗を飾って祝賀する。なお、懸案の「へいこい」は都市計画により市当局との接渉によって現在とつづいて市内を通過（本通り）は歩道つき十五米に拡張され、東側（中関町）は商店街に、工場内の池附近は緑地帯として公園化されることになっている。

その他託児所、理容室などの厚生施設を含め約六千坪の近代設備を誇り総工費約七億。第二期工事として倉庫四千坪が九月から着工される。現在日産は「いこい」六〇〇万本計九〇〇万本である。

（写真上は完成した新工場、下は改造前の旧工場全景）

広場

〃生協〃ノイローゼ

食通をもつて幹す男が朝帰りに立寄った店で小半日も待たれてようやくお茶づけをかきこんだところが、代金がべらぼうに高いのでびつくり仰天、店の主人に云わせると、通人に出すのだからと、加茂川までわざわざ水を汲みに行つた運搬費が入つているという。

銀座あたりの天ぷら屋では一人前千円の代物があるそうだし、食物にかぎらず土地相応に通良心的でしかも安価な品物なら鮎刀ゲ。これにおよそ物の値段に情緒供給のバランスが取れてこそ日常生活の安定性も得られるわけだが、なかには〃安物買いの銭失い〃とか〃見栄坊の高〃買い〃をする人も交つているから複雑で面白い。ところで鳥栖に限らずいま生協問題がやかましく論議されているようだ。

一般消費者にとつて、なにかいいことがあるかなどは、一般消費者にとつて、安価な品物なら鮎刀ゲ。これにこしたことはない。

あんのじょう家庭経済は生協に直結したかつこうで、特に一部家庭の主婦達は一日に一度生協詣でをしなければ気が済まぬ程のやみつき病りだ。

そのあおりで生協通りの某店など最近では売上げがいちぢるく三倍に、ハ

ささか生協ノイローゼ気味の業者もあるらしく、対抗上値下げサービス運動を呼びかけるのはまだ良い方で、苛だしきは生協出入り商人のボイコットなど理性を失い、因果の報いで自店の信用げがいちぢるく三倍に、ハ失墜に拍車をかけている百目な業者もいると聞くから驚く代かはない。

泰平の夢をむさぼり続けていた鳥栖市の商店街にとつて生協の投げかけた波紋は特来かに大きい。だが私は冷静に考えてみる。生協とは利潤を考慮せずやたらに商店街に駆つておれる筈があるまい。

ネ上つたとか呼びのうわさ、まつたく何が災いしたのか、ただ私は冷何が幸いするのか我々には見当がつかない。

こうなつてくると他の

秋野菜 まき付は上旬までに

今月の上旬までは秋野菜のまき付の好期です。秋野菜のまき付は殆んどが春植作の後作であるため、ナスを除いて大部分のものが八月月中に收穫を終えますので收穫が終ったらすぐ整地するようにして下さい。

整地は、農家であればなるべく多くの堆肥を埋め込むことで、非農家の場合は家の周囲のゴミ、あくたなどを堆肥代用として入れることが大切で、更に石灰の散布も肝心なことです。

整地が終れば土地の状態をよく研究して、土地に適した野菜や品種を借用のある種屋さんで準備して下さい。大根と人参、ごぼうのように地中に深くはいる作物は、作り土が深くてある程度砂地がかった土地を選ぶことです。粘質白菜は砂地に近い所でなるべく肥沃な土地を好みますが、カンランなどは管理さえよくやれば大体どんなところでもできます。

品種の選び方としては、大根は早く食べるものなら「美濃早生大根」を、普通は「理想」でよいでしょう。白菜は「京都三号」が一般的ですが、病気の多い地帯では耐病性品種が最も多く出ていますので、種屋さんに二百八十八名の一五パーセントに過ぎません。

家庭に恵まれない児童や保護者のいない児童のために、最も大切な問題である温祝、職親について、各層から開拓するのの運動の要旨であります。皆さんの御協力と施設家の雪起を望んでおります。

△県福祉課▽

不幸な子供に愛の手を

青少婦だより

才三回の温祝、職親を求める運動が九月から月月にかけて行われます。温祝を通じて登録されている数は三十年末現在で一万六千二百人で、そのうち死亡を委託されている数は九千百十一名で約五一パーセント、残りの半数がまだ委託されておりませんので、これらの温祝、職親を求める運動が九月から月月にかけて行われます。温祝を通じて登録されている数は三十年末現在で一万六千二百人で、そのうち死亡を委託されている数は九千百十一名で約五一パーセント、残りの半数がまだ委託されておりません。

また、職親（保護受託者）の登録は千三百三十六名で、このうち保護受託されている児童は千百八十八名で、その一五パーセントに過ぎません。

家庭に恵まれない児童や保護者のいない児童のために、最も大切な問題である温祝、職親について、各層から開拓するのの運動の要旨であります。皆さんの御協力と施設家の雪起を望んでおります。

△県福祉課▽

秋植のできる杉や檜

一般に植付の季節は春植の時期が柳刈につづき、脱穀一実詰と農繁期に当るため、従来殆んど行われていませんが、これは一つの習慣で、秋植そのものが適しないというわけではありません。

特に、春植で時期が遅れ三月下旬から四月上旬にかけて植えつけたものは、すぐ乾燥期に向うため枯死率も多いのです。この時期のものはむしろ秋植のほうがよいと思われますから、努力の許す限り秋植をおすすめします。

秋植の特長は、春の成長開始期までに根を安定していゝだけに、春植よりも伸びもよいわけですが、次の点に注意しなければなりません。

第一に、南向きの斜面で陽当りのよいところは乾燥がひどいので、乾燥の割合少い山の東や北の斜面を選ぶことです。第二に、種栽培り実如福岡の陸運局から運行中止の命令を受けたことのことで余儀なく中止することになりましたことから、せっかく皆さんの御計画もご迷惑を御遠慮なく御相談願いたいとの事であります。

△県林務課▽

会員バス 御利用を感謝

七月二十一日から観光協会立石間の会員貸切バスは、運行してきた四所屋、TA等の御援助と農協の御協力により、何らの事故もなく終ひどいのでは、このバスは八月三十一日まで運行する計画で、皆さんに本紙編集についての企画ことになりましたことから、なるべく近くの苗畑のものを使切って丁寧に植えることが大切です。苗木の取扱いが悪く一日でも植付を遅らせる苗木が弱って枯損率が多くなります。

要するに、土地に応じて注意深くやれば、秋植のほうが春植のものよりもよい結果がたもたれることは間違いありません。

△県林務課▽

市民の聲

精井堰の完工を喜ぶ

―町村合併がもたらした收穫―

麓町 脇 作次

町村合併に対する市民の声として、或いは非難らしいことを耳にすることがしばしばあるが、私はここに農民として喜びたくない事実を波紋し市民諸賢にその喜びを分ちたいと思う。

鳥栖駅から長崎線踏切に向う途中の清流安良川に沿って精（しらげ）井堰がある。この井堰は、灌漑面積約二五町歩、耕作者七〇名その地元は旧鳥栖の三カ町村の境界線で、いづれもその末端に位して交錯しており、従って耕作者も人一倍、人参はオレンジ色のものなら「五寸人参」を、鮮紅色が好まれるようでしたら「金時人参」を用意して下さい。

ともよく相談のうえ貰うほうがよいと思います。カレーン草は「うな」が最も

町村の事故発生の場合は各町村と協力して、地元耕作者としては言語に絶するほどの苦労をなめたことも多かった。

たまたま、この精井堰が昭和二十年の水害で決壊したことから、地元安原県議熱心に県当局に交渉し、弱二十六年度に沿って計画を計上してもらいようやくその緒についたが、当時は合併前のことでもありまた各町村にはそれぞれ独自の事情もあって交渉は遅々として進まなかったが、その間、耕作者は潰れ、工費百十万円で竣工し、

他の事故発生の場合は各町村と協力して、地元耕作者としては言語に絶するほどの苦労をなめたことも多かった。

たまたま、この精井堰が昭和二十年の水害で決壊したことから、地元安原県議熱心に県当局に交渉し、弱二十六年度に沿って計画を計上してもらいようやくその緒についたが、当時は合併前のことでもありまた各町村にはそれぞれ独自の事情もあって交渉は遅々として進まなかったが、その間、耕作者は潰れ、工費百十万円で竣工し、

ようやく二十九年ではこぎつけてきたが、三十年の水害でまた井堰はもとよりも甚大な被害をうけた。

ここに至ってはいよいよ本年五月までには何とか改修せねばならない段目になったので、市当局は会議員及び区長さん等は毎日深くましい努力を払っていただいた結果現に毎日深くましい努力を払っていただいた結果地元民も今までの行掛り捨て、敷次の会合を重ねて市当局とも交渉して者に対し深甚の謝意を表すると共に、一般耕作者の方々にも私共のこの喜びを御披露して今年の秋の稔りを祈る次第である。

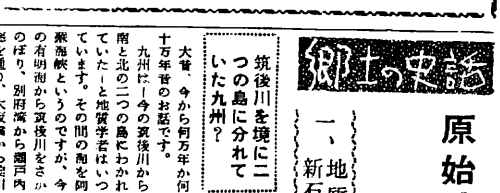
（写真は完成した安良川の精井堰）

不幸な子供に愛の手を

川市二十八米余のコンクリート作りの堅ろうな井堰が完成した。

これによって私共は安心して農業に従事することができるようになったのは、これは偏に当局者の理解ある御協力によるところ大きいのであるが、これ以外に市村合併がもたらした農民への恩恵であるとも言えるに過ぎてはない。

ここに市当局並びに関係者に対し



郷土の史話

原始時代の鳥栖 ①

松尾 禎作

この時代は全く金属の使用を知らぬ時代で、農耕も傍わっていません。けものや魚をとって、木の実や草の実を採して生活する採集経済の時代で、それが今から約二千年余り前まで続いたのです。

びえて火を噴いていたそうで、その熔岩が阿蘇海淡を こえてこちらの岸に流れつき。今でも、夏は秋月から北は原田、鳥栖地方にはもちろんたくさんある経石がそれです。大木川の川底からも出ますが、曾根崎や鳥栖の合地に井戸を掘ると、地下三、四米の所から出る輕石も熔岩の一種だといいます。

一、彌生式時代

（やよい）

（やじり）や皮剣（ふかわはぎ）など少しづつ発見されています。

この時代は紀元前三百年の間後、各二、三百年の間のことですが、今までの採集経済の時代とちがって農耕栽培も行われていますので勢い低地定住となり、集落もでき、集団孤地もできたようです。しかし、前代の狩や漁りの生活も行われ、石器もなお使われているので金石併用時代ともいって次の高塚古墳の時代と縄文（じょうもん）文化時代の過渡期となっています。

衣生活の面からみると、獣皮や「たづな」等の外に編物も少しはあったらしく、市内のあちこちから紡錘車（つむぎぐるま）という丸い円板に穴をあけた石器や土器が発見されています。

食物は木の根、草の実、鳥獣魚肉のほかに、穀物も食べていたらしく、田代北方の梅坂からは叡の炭化したものが多くたくさん発見されています。これは、石皿（いしぼうちょう）という明清具で改良した鍋の種を取ってお粉にしたあとですがこれを石臼に入れて杵（きね）でついて玄米とし。それをコシキでむして食べたらしく、その石臼下も発見され、コシキに使う土器のもとり手も梅坂の遺跡から出ています。（続）

（編者は県文化財専門委員、鳥栖市史編さん委員）

筑後川を境に二つの島に分れていた九州？

大昔、今から何万年か何十万年昔のお話です。

九州は一今の筑後川から南と北の二つの島にわかれていた一と地質学者はいっています。その間の海を阿蘇海峡というのです、今の有明海から筑後川をさかのぼり、別府湾から瀬戸内海を通り、豊後、大阪湾から淀川平野、琵琶（びわ）湖とつらなり、若狭（わかさ）湾に出る大陸浸地帯の海になっていたそうです。そうして南の島までは、広い海を渡らねばならなかったといいます。

北の島には背振山や九千部山等の玄蕊山脈がそびえ、その他何でも結構です。特に本紙編集についての企画その他何でも結構です。特に本紙編集についての企画や町内、部落内のことで意味になることがありましたらどしどしお知らせ下さるようお願いします。

金属のないころ食物は鳥獣や草木の実

何万年前から、哺乳動物や人類の祖先がこの地上にあらわれますが、その頃はまだ九州も大陸と陸つづきであったため、象などもお住んでいたといわれます。

この頃の人類即ち旧石器時代の人類の遺物は、今のところ鳥栖地方には発見されていません。

今から四、五千年前になると、新石器時代の縄文（わたり）郷のところに「（昔は筑後国御井（みい）川の渡瀬、甚だ広く人畜渡しかなかった田代の北や梅の部から見つかっています。

この時代の住いの跡や土器、石器がもっと発見されそうですが、開墾などのためにまだ大体見つかっていません。

田代の安永田から出た阿蘇式土器の一片が、いま大阪浜寺の本山農業博物館に保存されています。同じ阿蘇式土器は、立石の笛吹のかしら七田鹿荒氏などが発見しています。やはり縄石器時代の半頃のものでそれに伴う打製石器も石鉄

はじめて田畑を たがやし集団生活をいとなむ

次の彌生式文化の時代になりますと、この地方にも原始農耕が大陸から傳わりもの農耕がたくさん発見されています。これは、石皿（いしぼうちょう）という明清具で改良した鍋の種を取ってお粉にしたあとですがこれを石臼に入れて杵（きね）でついて玄米とし。それをコシキでむして食べたらしく、その石臼下も発見され、コシキに使う土器のもとり手も梅坂の遺跡から出ています。（続）

（編者は県文化財専門委員、鳥栖市史編さん委員）

館号本欄の「森本警察署」は馬渡正人氏中、「郡役所の位置は現在の鳥栖小学校の西側であった」を「鳥栖小学校内の西側」に訂正

郷土の文芸

俳句

△俳句▽

中秋の近づく夜空銀河冴ゆ
ふみわけし山の小道に秋こぼる

△川柳▽

貧困へ観光列車走る秋
アベックの歩調が合わぬ散歩道

龍町 立石 今村 章

手軽で氣軽に絶対秘密
借りる身になって誠実
に御相談承ります

質しちや

鳥栖中通 野村合名

TEL 二、六〇〇